

# 令和5年度

## 第3回 三朝町地域公共交通協議会

日 時：令和6年1月11日（木）午後3時  
会 場：三朝町役場 第2会議室

---

### 【日 程】

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 協 議 事 項

(1) みささサンサンバスの利用状況について

・・・概要

資料1

・・・みささサンサンバス利用実績まとめ

資料2

・・・みささサンサンバスデマンド便バス停利用状況

資料3

(2) 生活交通確保維持改善計画の事業評価について

資料4

(3) 徳本線におけるバス停の追加について

資料5

4. そ の 他

・路線バスのダイヤ改正（令和6年4月1日）について

資料6

5. 次期開催日 令和6年6月予定

6. 閉 会

---

## 令和5年度 第3回三朝町地域公共交通協議会参加者名簿

### 三朝町地域公共交通協議会委員

区 分	団体等	氏 名	
学識経験者	国立米子工業高等専門学校	加藤 博和	
学識経験者	三朝町立三朝小学校	中川 弘通	
公共交通事業者	日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所	徳丸 淳史	
公共交通事業者	日ノ丸ハイヤー株式会社倉吉営業所	松下 孝博	
公共交通事業者	日本交通株式会社（日交タクシー）	佐々木幹宗	
行政関係	中国運輸局鳥取運輸支局	石井 尚樹	
行政関係	鳥取県輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局交通政策課	野坂 明正	
行政関係	鳥取県倉吉警察署交通課	石田 健治	
団体代表	三朝温泉観光協会	足立 浩範	欠席
団体代表	三朝町老人クラブ連合会	田栗 幸人	
団体代表	三朝小学校PTA	中田 桃子	欠席
地域代表	高勢地域協議会	徳田修一郎	
地域代表	賀茂地域協議会	山崎 一彰	
地域代表	竹田地域協議会	高見 昌利	
福祉関係	三朝町社会福祉協議会	岩本 美樹	欠席
副町長	三朝町	赤坂 英樹	
オブザーバー	日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所	岡本 博文	

### 事務局

三朝町地域振興監 兼企画健康課課長	青木 大雄
〃 課長補佐	米田 真

## 1 みささサンサンバスの利用状況について

## 概 要

## (1) 利用者数（令和4年10月～令和5年9月） ※詳細は資料2を参照

- ・全線あわせて年間4,270人、月平均355人の乗車。対前年増減率は△2.2%
- ・穴鴨線、徳本線で利用者増加、小河内線は減少。
- ・穴鴨線、小河内線は通学利用が大半を占めるため、休み期間前後の月別変動が大きい。

## 【月別路線別利用者数】

(単位：人、円)

路線名	穴鴨線	小河内線	徳本線	全線計	運賃収入
R4年10月	165	182	33	380	14,600
11月	144	184	27	355	12,750
12月	163	150	31	344	12,450
R5年1月	136	139	19	294	11,800
2月	113	184	16	313	11,350
3月	152	151	36	339	16,800
4月	202	116	42	360	13,050
5月	220	155	26	401	14,350
6月	241	153	31	425	12,850
7月	216	116	23	355	10,950
8月	182	58	34	274	13,100
9月	230	157	43	430	14,850
年間合計	2,164	1,745	361	4,270	158,900
前年実績	1,986	2,034	344	4,364	131,600
対前年増減率	9.0%	△14.2%	4.9%	△2.2%	20.7%

## (2) デマンド便バス停利用状況 ※詳細は、資料3を参照

- ・上りの最終下車地、下りの始発地は、ほぼ全て「三朝町役場」  
(次点で、「三朝小学校前」「本泉」「森団地前」など)
- ・昨年度から利用回数が大きく変動しているバス停があり、固定客の入れ替わり等と推測
- ・継続的に利用された町営バス停（年10回程度以上）は次のとおり  
小河内線：上笏賀、下谷交流センター前、鎌田公民館前、森公民館前、なごみの館前など  
穴鴨線：上久原(村中)、大谷入口
- ・小河内線では村中バス停が満遍なく利用されているが、穴鴨線では利用に偏りがみられる
- ・町営バス停「赤松(村中)、恩地(村中)、大島」の利用は、これまで運行日誌で確認できず



# みささサンサンバス利用実績まとめ

(令和 4 年 10 月～令和 5 年 9 月)

# 1. 小河口内線

## 【運行の状況】

- ▶「実光 7:17 発（土日祝）」と「三朝町役場内 15:40 発（平日）」の2便が定時定路線運行
- ▶「三朝町役場内 10:25 発（毎日）、13:15 発（平日）、15:40 発（土日祝）、16:45 発（平日）、17:50 発（平日）」は、一部の区間が定時定路線でその先はデマンド運行
- ▶上りの便（実光⇒三朝町役場内）はすべてデマンド運行

### 1-1 利用者数

#### （1）便別券種別利用者数

- 上り（実光⇒三朝町役場内）を利用した人数は年合計 198 人、下り（三朝町役場内⇒実光）を利用した人数は 1,547 人で、下りの利用者が上りに比べて圧倒的に多い。これは、小学生の通学において登校時は日ノ丸バス（実光 7:17 発）を利用し、下校時にサンサンバスを利用するためである。
- 利用者数を券種でみると、小学生の通学が主体となることから「定期券」の数が多く、次いで「現金」となった。「架け橋」や「回数券」の利用はほぼない。
- 一般利用は、「実光 8:10 発、11:00 発」がお出かけ便として機能し、帰宅便は「三朝町役場内 10:25 発から 16:45 発まで」幅広く利用されていることがわかる。
- 上りの「実光 7:17 発（土日祝）、13:40 発、16:10 発」と下りの「三朝町役場内 17:50 発」の利用が少ない。
- 前年に比べ、下りの「三朝町役場内 16:45 発」で利用者が大きく減ったほか、上りの定時便「実光 7:14 発（土日祝）」の減りが目立つ。

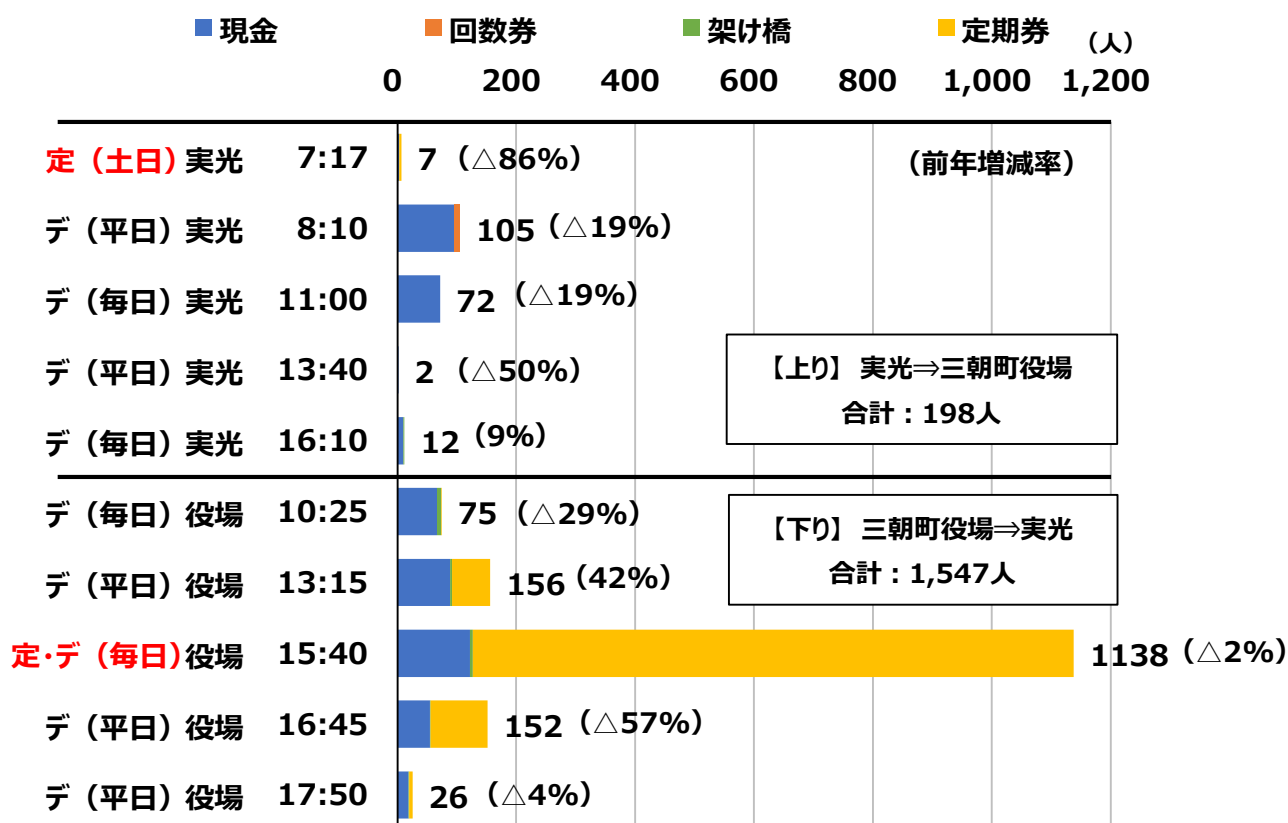


図1 便別券種別利用者数（R4年10月～R5年9月の合計値）

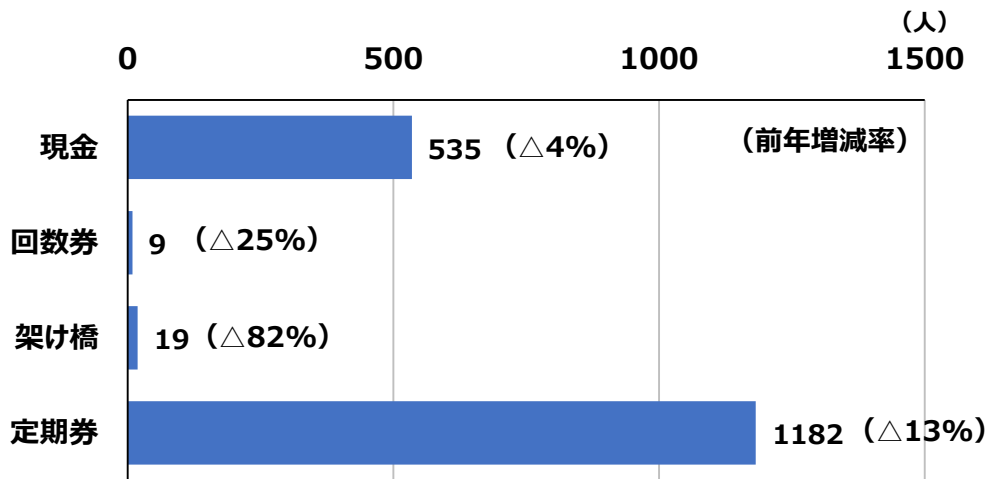


図2 券種別利用者数 (R4年10月～R5年9月の合計値)

## (2) 月別利用者数の推移

- 前年と比べ、全体的に利用者は下回っている。令和5年1月の減少には、積雪による運休も影響している。
- 月別利用者数の増減は、前年と同様、小学生の通学に起因するところが大きく、夏休みにあたる8月に最も減少したほか、春休みの3月にかけて減少傾向がみられる。
- 春夏に比べて秋冬は利用者数が増加傾向にある。

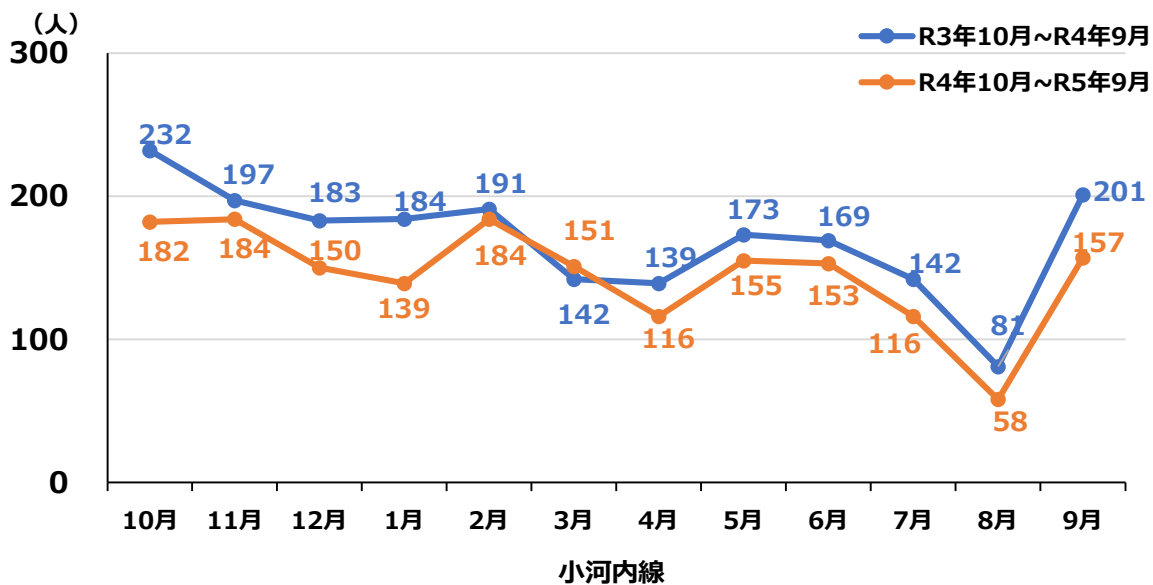
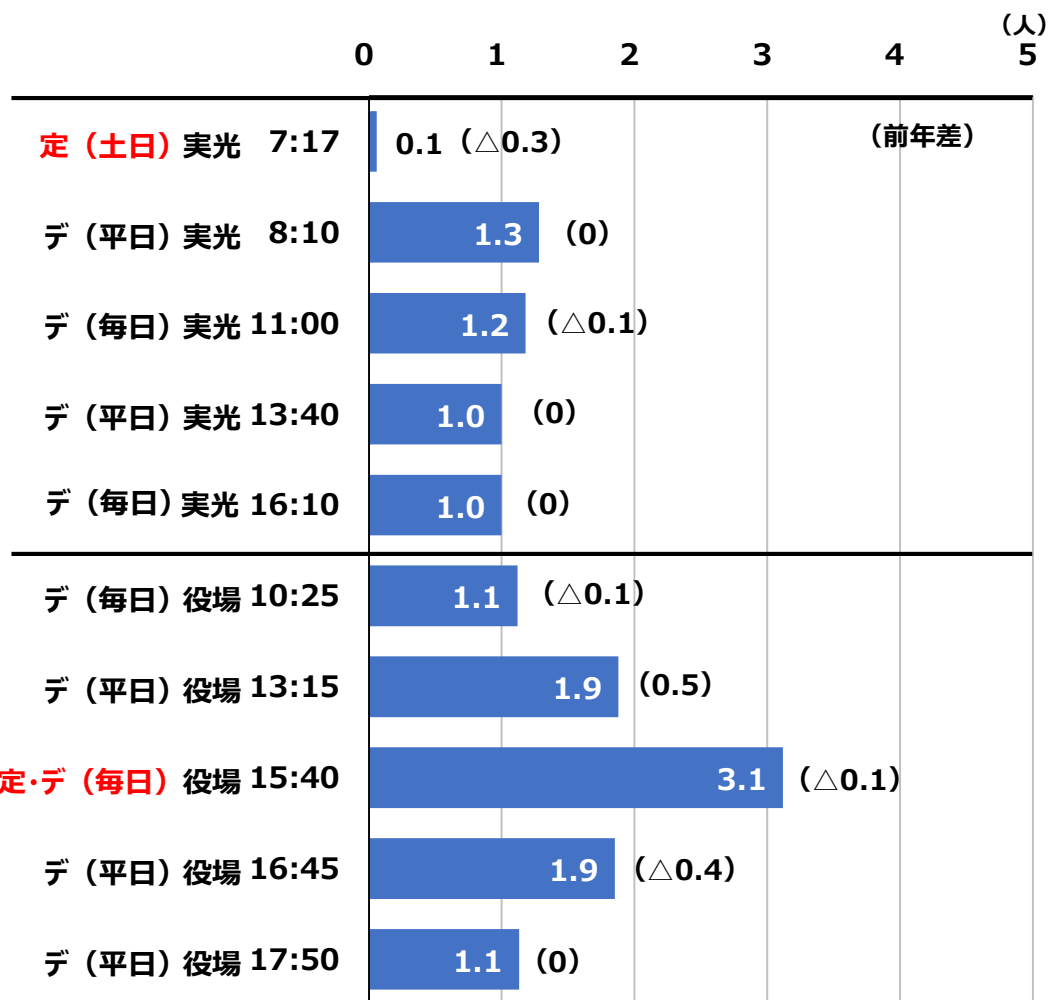


図3 月別利用者数の推移

### (3) 便別日平均利用者数

- 定時便については「利用者数÷運行予定日数」、デマンド便については「利用者数÷稼働した日数」で、運行日1日平均の便別利用者数を算出した。
- 日平均利用者数としては、定時便「三朝町役場内 15:40 発」の値が1便平均3人以上で他に比べて高い。反対に、定時便「実光 7:17 発（土日祝）」は1便平均0.1人と最も少ない。
- 上記以外の便は、デマンド便のため1を下回ることはない。



※利用者数を、定時便は運行予定日数で、デマンド便は実際に運行した日数で割った値

図4 便別日平均利用者数 (R4年10月~R5年9月の平均値)



#### (4) 曜日別利用者数

- 小河内線全体の利用者数を曜日別に振り分けてみると、平日の利用は概ね横ばい。
- 前年同様、運行する便数が平日の約半分とはいえ、土日の利用者が極端に少なく、とりわけ日曜日の利用はほとんどない。

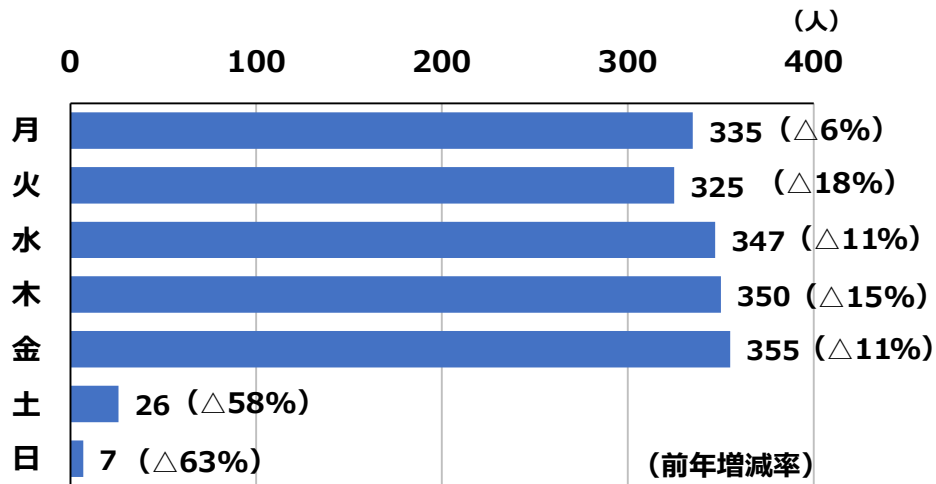


図5 曜日別利用者数 (R4年10月～R5年9月の合計値)

#### 1-2 稼働率

- 定時便、デマンド便ともに、「利用のあった便÷運行予定日数」で稼働率を算出した。
- 稼働率が最も高いのは、下りの「三朝町役場内 15:40 発」で、平日は主に小学生の下校便として利用されている。
- 稼働率が最も低いのは、「実光 13:40 発」で、年間を通してデマンドの予約がほぼ入らない。

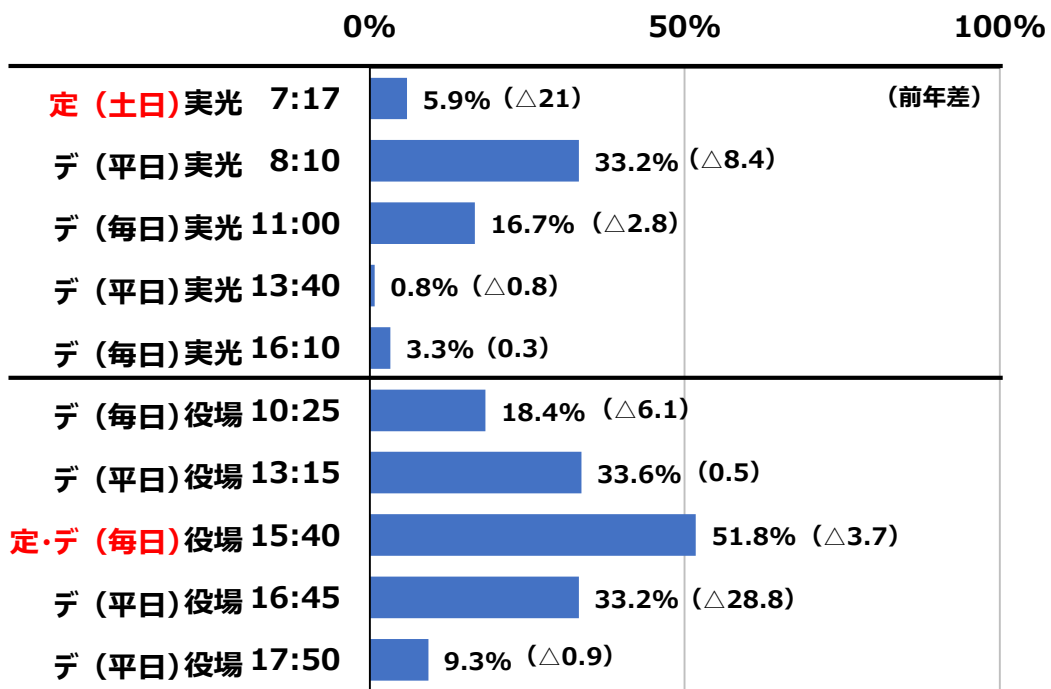


図6 便別稼働率 (R4年10月～R5年9月の平均値)

## 2. 穴鴨線

### 【運行の状況】

- ▶ 「穴鴨公会堂前 7:14 発（平日）」と「下畑 8:15 発（土日祝）」の2便が定時定路線運行
- ▶ 「大谷入口 12:20 発（毎日）」がデマンド運行
- ▶ 「三朝町役場内 11:35 発（毎日）、16:42 発（土日祝）」は、一部の区間が定時定路線でその先はデマンド運行

### 2-1 利用者数

#### （1）便別券種別利用者数

- 上り（穴鴨方面⇒三朝町役場内・前）を利用した人数は年合計 1,317 人、下り（三朝町役場内⇒穴鴨方面）を利用した人数は 847 人となっている。
- 「穴鴨公会堂前 7:14 発」は、倉吉市方面行きの日ノ丸バスとの接続を考慮して左回りとなっており、「定期券」の数が多いことから倉吉方面への高校生の通学に利用されている。
- 利用者数を券種でみると「定期券」の数が多く、次いで「架け橋」、「現金」と続く。
- 一般利用は、「三朝町役場内 11:35 発」が比較的多く、この便が帰宅便としてよく使われている。
- 前年に比べ、下りの「三朝町役場内 11:35 発」で利用者が大きく増えた。特に、現金の利用が伸びている。

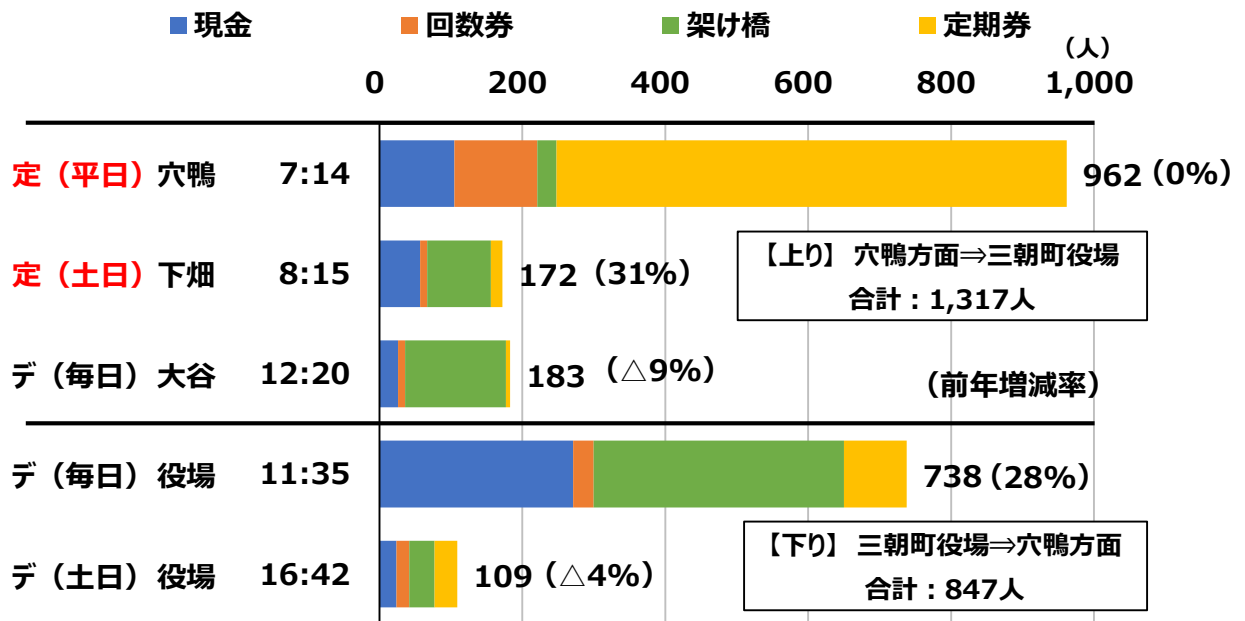


図7 便別券種別利用者数 (R4年10月～R5年9月の合計値)

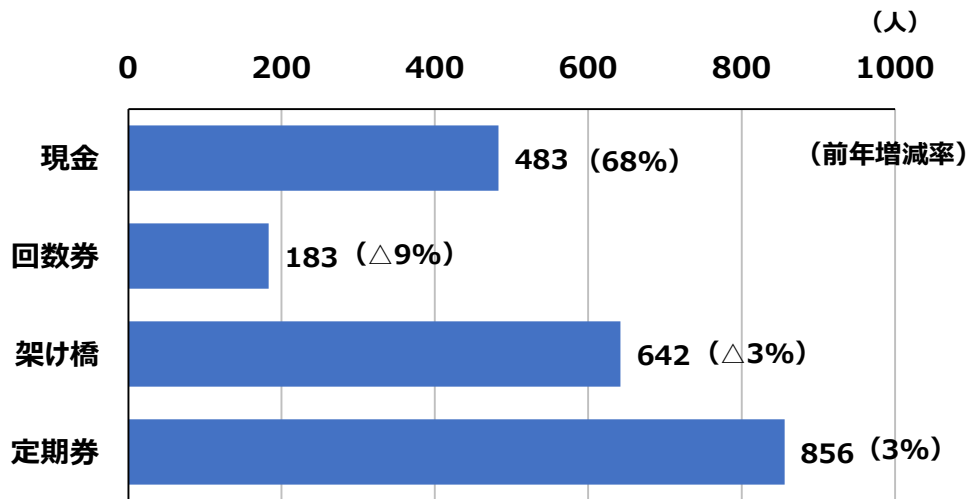


図8 券種別利用者数 (R4年10月～R5年9月の合計値)

## (2) 月別利用者数の推移

- 令和5年2月までは前年を下回る利用者であったが、3月から増加傾向に転じ、その後も前年を上回る利用者で推移している。
- 要因として、新年度から高校生の通学利用が増えたほか、「三朝町役場内 11:35 発」を帰宅便として利用される固定客が増加したことによるものと考えられる。
- 月別利用者数の増減は、高校生の通学に起因し、夏休みにあたる8月に減少している。

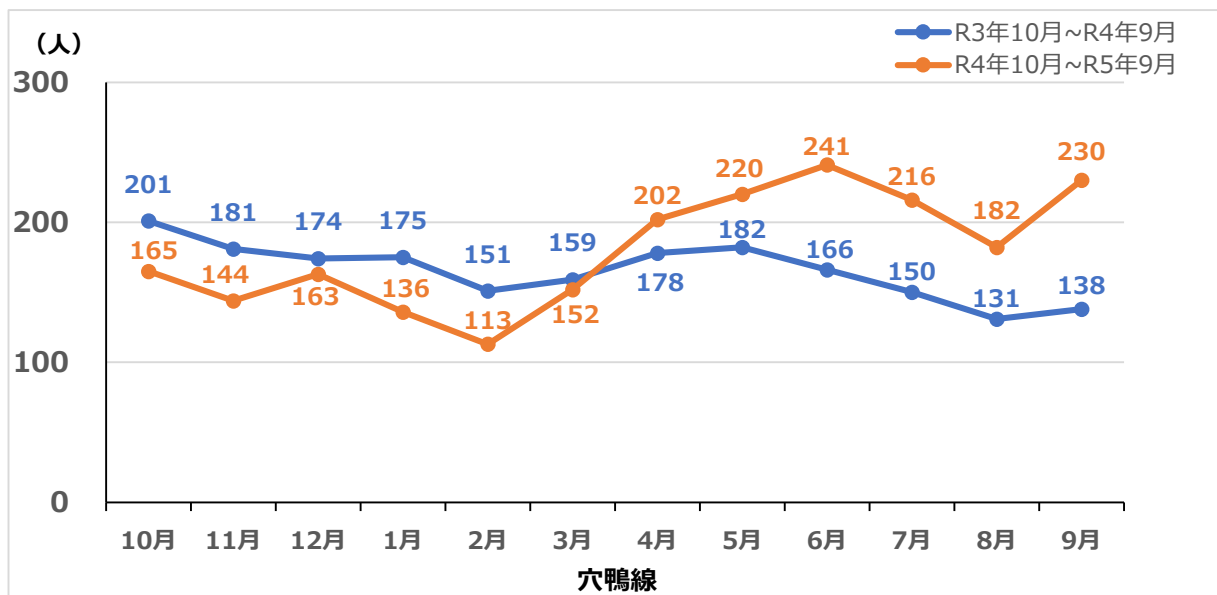
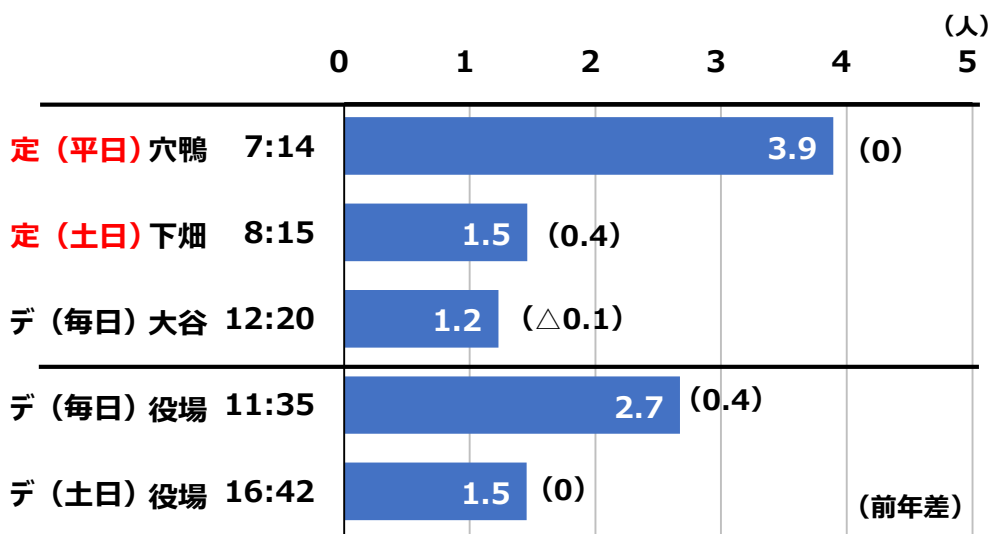


図9 月別利用者数の推移

### (3) 便別日平均利用者数

- 日平均利用者数としては、定時便「穴鴨公会堂前 7:14 発」の利用が 3.9 人と最も多い。
- 「三朝町役場内 11:35 発」は、デマンド便にも関わらず、利用者が 2.7 人と非常に多い。



※利用者数を、定時定路線は運行予定日数で、デマンド運行は実際に運行した日数で割った値

図 1 便別日平均利用者数 (R4 年 10 月~R5 年 9 月の平均値)

### (4) 曜日別利用者数

- 穴鴨線全体の利用者数を曜日別に振り分けると以下のとおりで、月曜日の利用が他に比べてやや多い。
- 平日に比べると土日の利用者は少ないが、小河内線ほどに差は開いていない。前年から増加しており、買物等のお出かけ便として、土日も一定の需要があることがわかる。

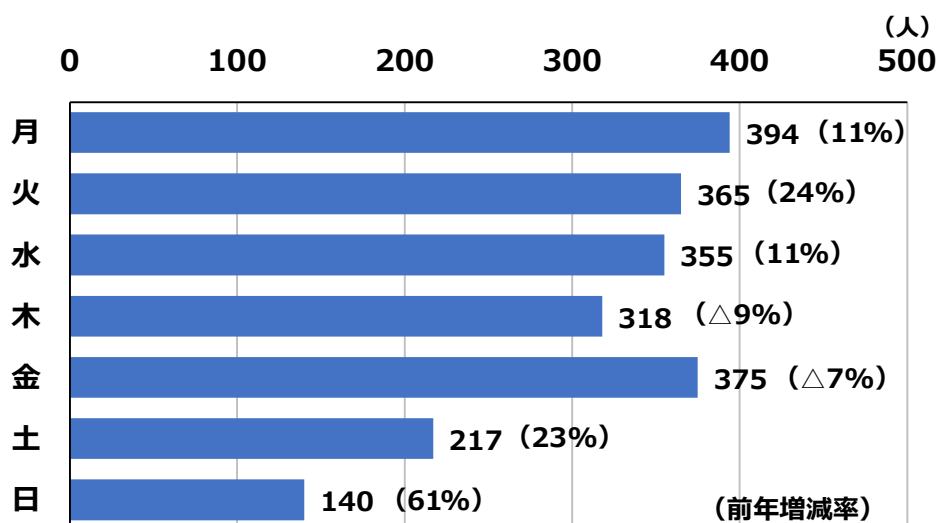


図 11 曜日別利用者数 (R4 年 10 月~R5 年 9 月の合計値)

## 2-2 稼働率

- 稼働率が最も高いのは、定時便「穴鴨公会堂前 7:14 発（平日）」で、平日の通学便として機能しているため、稼働率はほぼ 100%に近い数値となっている。
- 次いでデマンド便「三朝町役場内 11:35 発（毎日）」、定時便「下畑 8:15 発（土日祝）」で、どちらも前年と比べ稼働率が上がっている。
- 小河内線と比較して、穴鴨線は全体的に稼働率が高く、バラツキも少ない。

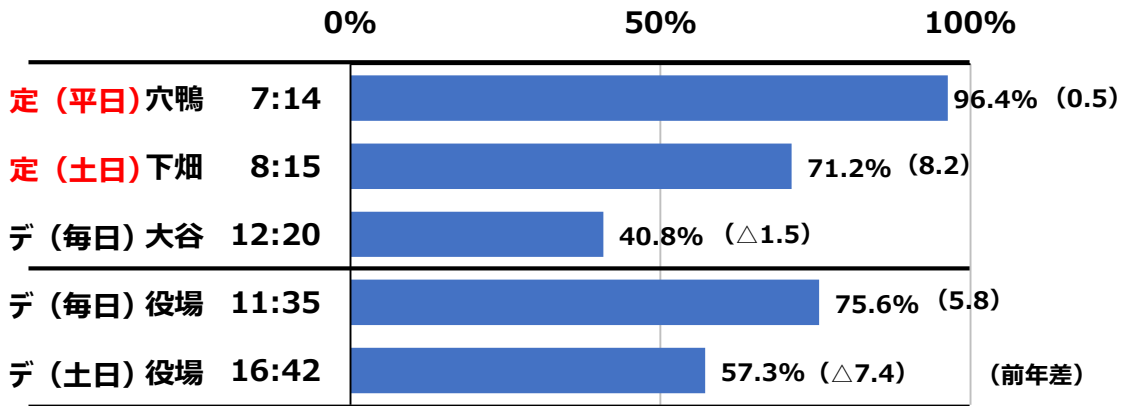


図 12 便別稼働率（R4 年 10 月～R5 年 9 月の平均値）

### 3. 徳本線

#### 【運行の状況】

- ▶すべての便が定時定路線
- ▶平日のみの運行

#### 3-1 利用者数

##### (1) 便別券種別利用者数

- 下り（三朝町役場内⇒三朝温泉病院）を利用した人数は年合計 210 人、上り（三朝温泉病院⇒三朝町役場内）を利用した人数は 151 人となっており、下りの利用がやや多い。
- 券種で見ると、ほとんどが「現金」の利用で、「架け橋」の利用も少しだけある。
- 前年に比べ利用者自体は微増だが、「三朝温泉病院 10:10 発」の利用のみ落ち込んでいる。
- 病院への往復利用を想定した路線だが、実際には別目的の片道利用が多いと推測される。

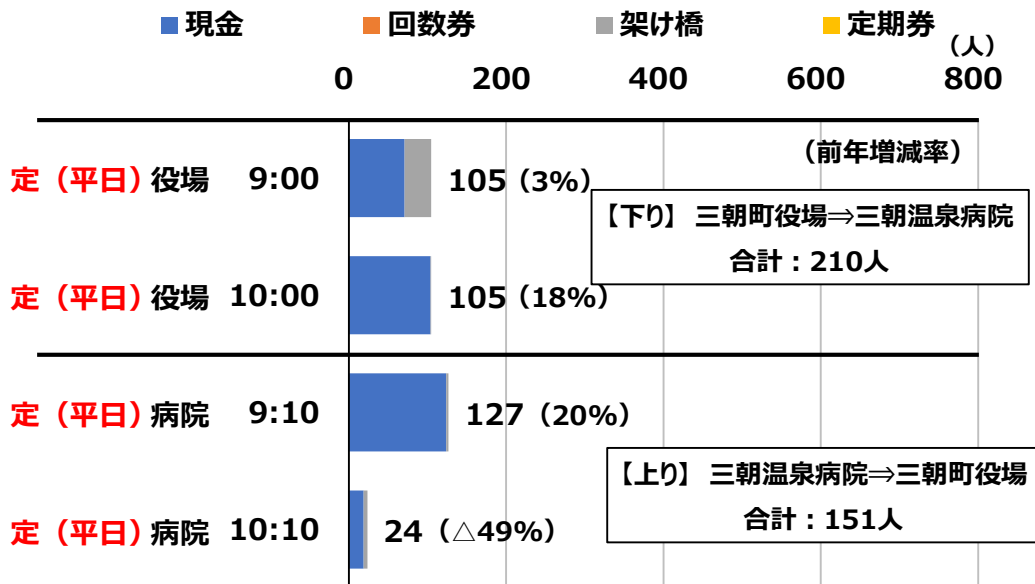


図 13 便別券種別利用者数 (R4 年 10 月～R5 年 9 月の合計値)

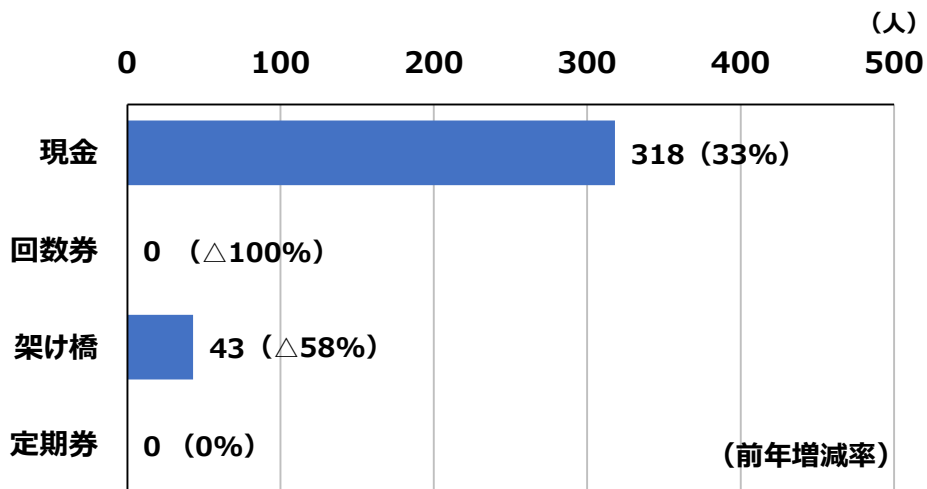


図 14 券種別利用者数 (R4 年 10 月～R5 年 9 月の合計値)

## (2) 月別利用者数の推移

○月別利用者数をみると、前年と同様にほぼ横ばいで推移しており、特段傾向はみられない。

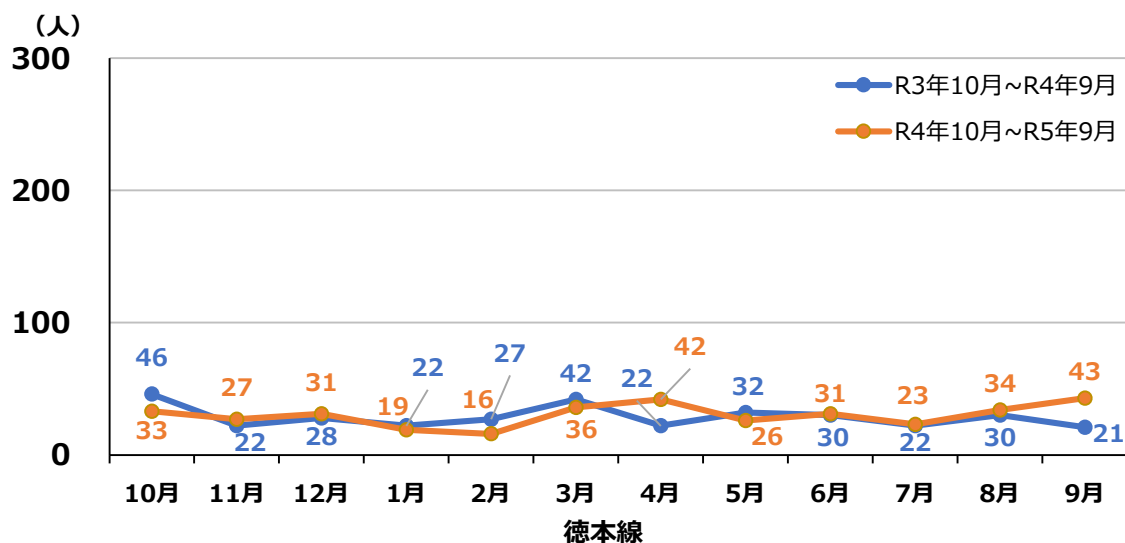
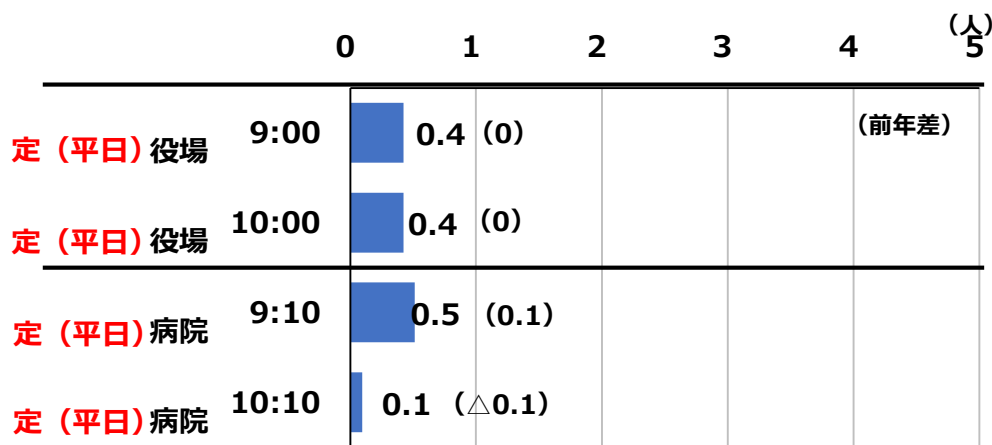


図 15 月別利用者数の推移

## (3) 便別日平均利用者数

○運行予定日 1 日平均の利用者数は、下り（三朝町役場⇒三朝温泉病院）で 0.8 人、上り（三朝温泉病院⇒三朝町役場）で 0.6 人となっている。

○上下合わせて 4 便は、いずれも日平均 0.5 人/日以下となっている。



※定時定路線は利用者数を運行予定日数で割った値

図 16 便別日平均利用者数 (R4 年 10 月~R5 年 9 月の平均値)

#### (4) 曜日別利用者数

- 運行日の月～金曜日の利用を比較すると、金曜日が最も多くなった。
- 各曜日でバラツキがみられ、前年と比べても増減はまちまちで、傾向を掴むのは難しい。
- 母数が少ないこともあり、固定客の入れ替わりで差異が出てくるものと考えられる。

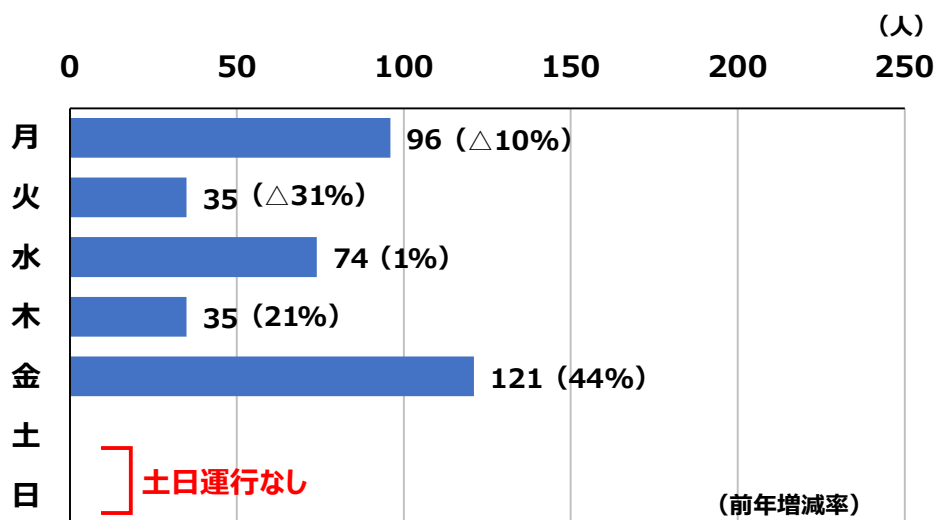


図 17 曜日別利用者数 (R4 年 10 月～R5 年 9 月の合計値)

#### 3-2 稼働率

- 「三朝温泉病院 10:10 発」以外の 3 便は、前年に比べ稼働率が上がり、いずれも 30%を超えた数値となっている。

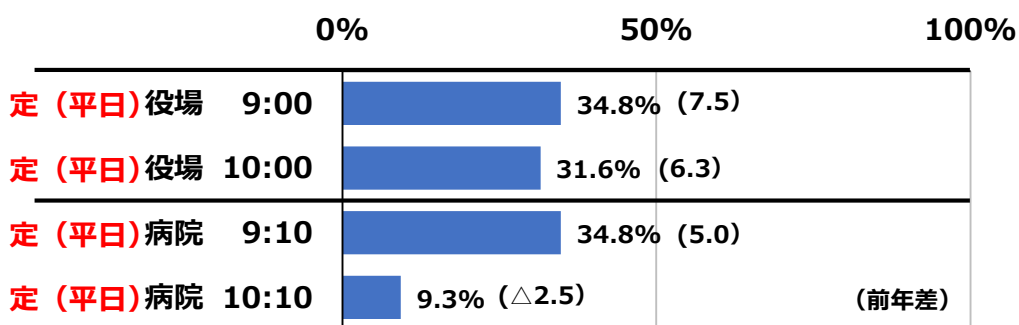


図 18 便別稼働率 (R4 年 10 月～R5 年 9 月の平均値)



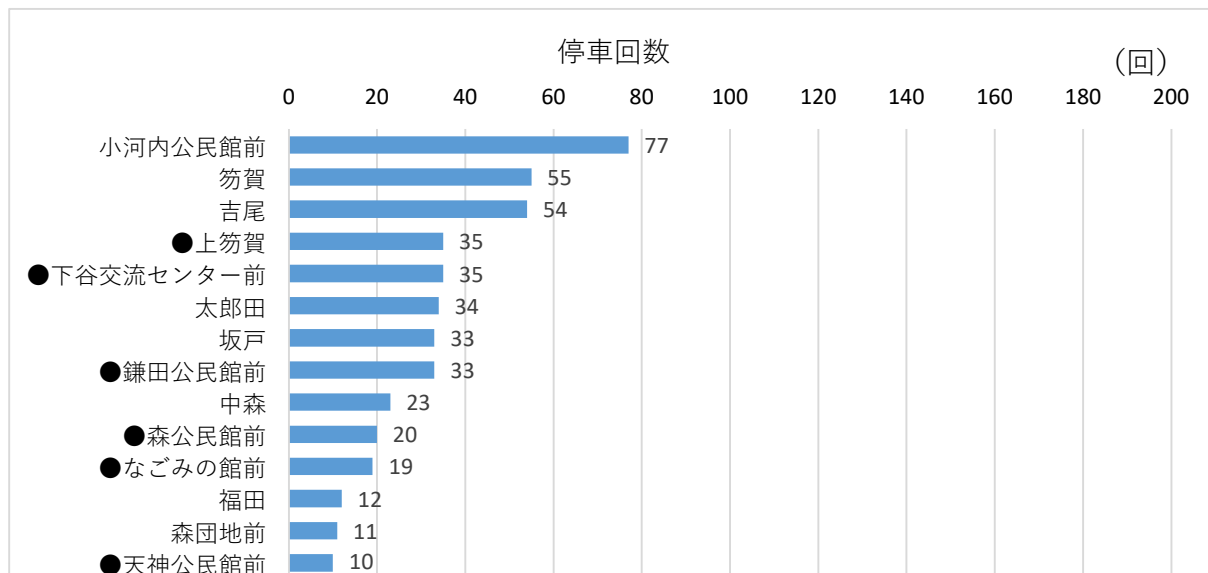
## みささサンサンバスデマンド便 バス停利用状況

■集計期間…R4. 10. 1～R5. 9. 30

■集計対象…定時を除く全てのデマンド便

■集計方法…役場を除く全てのバス停（58箇所）について、運行日誌からピックアップし、停車（乗車又は降車）回数をカウントした。

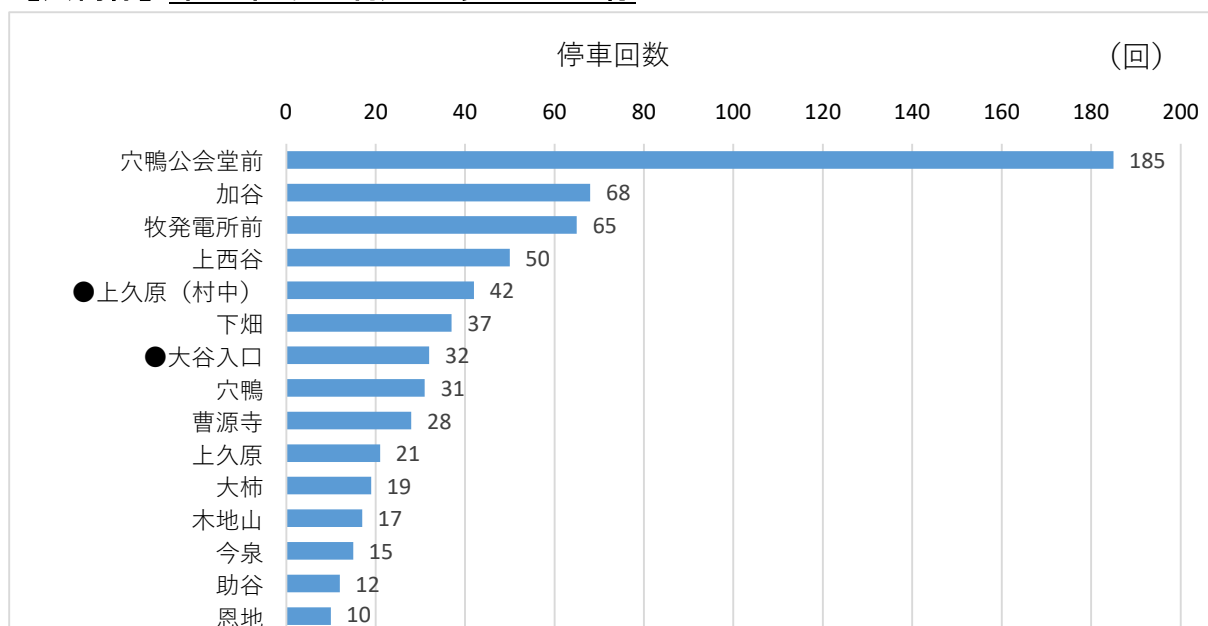
## 【小河内線】年10回以上利用のあったバス停



上記以外の町営バス停

●笏賀公民館前（1回） ●福吉（0回）

## 【穴鴨線】年10回以上利用のあったバス停



上記以外の町営バス停

●湯谷（村中）（5回） ●下久原（村中）（1回） ●曹源寺（村中）（1回）  
 ●とんがりハウス前（1回） ●若宮集会所前（0回） ●赤松（村中）（0回）  
 ●恩地（村中）（0回） ●助谷多目的研修会施設前（0回） ●大島（0回）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月11日

協議会名: 三朝町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費用庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三朝町	小河内線系統① 三朝町役場内～森公民館・鎌田公民館～実光 (路線不定期)	・町民から要望のあった小河内線のルート変更について、利用者への聞き取り調査を踏まえ、令和5年3月より実施。利用者の生活に寄り添ったバス運行となるよう、利便性の向上に努めた。	A	B	・利用者のニーズに合わせたダイヤ改正等の見直しを行い、利便性の向上に努めていく。 ・引き続き、町報やホームページ等を活用して周知を図るほか、周知チラシの刷新や乗り方教室など、利用促進につながる取り組みを継続して進めていく。 ・さらに利便性を高めるための方策の検討を行い、持続可能な公共交通を進めていくこととする。 (特記事項) ・次回以降は、実績を基にした目標を設定し、より正確な原因分析を進めていくこととする。
	小河内線系統② 三朝町役場内～森・鎌田～実光 (路線不定期)		A	B	
	小河内線系統③ 三朝町役場内～森・鎌田～実光 (路線定期)		A	B	
	六鴨線系統① 三朝町役場内～三朝小学校前・若宮集会所前・各(村中)～大谷入口 (路線不定期)		A	A	
	六鴨線系統② 六鴨公会堂前～運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	B	
	六鴨線系統③ 下畑～六鴨公会堂前・運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	A	
	六鴨線系統④ 下畑～六鴨公会堂前・運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	A	
	六鴨線系統⑤ 木地山～上西谷上・三朝小学校前～三朝町役場前 (路線定期)		A	A	
	日ノ丸自動車 徳本線 三朝町役場内～吉水医院前～三朝温泉病院 (路線定期)		A	B	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月11日

	三朝町地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>三朝町は、鳥取県中部の山間地域に位置し、面積は233.52km<sup>2</sup>、人口は6,060人(令和2年度国勢調査)の町である。4つの谷沿いに日ノ丸バス(4条路線バス)が走り、本町民の生活圏域でもある倉吉市に繋がるよう公共交通網が広がっており、車を運転できない高齢者や学生を中心に、生活に必要不可欠な公共交通として機能している。</p> <p>三朝町を含む鳥取県中部地域の公共交通は、少子高齢化や自家用車の普及等に伴い公共交通の利用者の減少が続いており、収支悪化による行政負担の増加や路線バスの減便といった問題が発生し、公共交通を取り巻く環境は今後もますます厳しくなることが予想されている。</p> <p>これに対応すべく策定された「鳥取県中部地域公共交通利便増進実施計画」では、本町の地形上、無駄の多い路線バスの系統を見直し、より効率的な公共交通の確保を目指すもので、生活圏域である倉吉市と本町をつなぐ幹線を三朝町と上井・三朝線に絞り込み、その幹線につながらる小河内線及び穴鴨線については、町運営有償運送を運行することによりライダー化を実現するものであるが、小河内線及び穴鴨線沿線住民の通院・買い物・通学を継続して確保するためには、新たな町運営有償運送を安定して運営することが重要である。</p> <p>このことから、生活交通確保維持改善計画により、小河内線及び穴鴨線の路線を維持し、住民生活の交通手段としてバスを存続させていくことが必要である。</p>

# 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 三朝町地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内ライダーシステム)の概要



## 三朝町の概要

- ・昭和28年11月に町制施行
- ・人口 6,060人(令和2年10月現在)
- ・面積 233.52km<sup>2</sup>

## 交通協議会の構成員

学識経験者 日ノ丸自動車(株) 日ノ丸ハイヤー(株) 日本交通(株) 鳥取運輸支局  
鳥取県 倉吉警察署 三朝温泉観光協会 三朝町老人クラブ連合会 三朝小学  
校PTA 三朝町社会福祉協議会 各地域協議会 三朝町

## 概要

三朝町は、4つの谷沿いに日ノ丸バス(4条路線バス)が走り、本町民の生活圏域でもある倉吉市に繋がるよう公共交通網が広がっており、車を運転できない高齢者や学生を中心に、生活に必要な公共交通として機能している。

三朝町の公共交通は、少子高齢化や家用車の普及等に伴い公共交通の利用者の減少が続いており、収支悪化による行政負担の増加から、路線バスを存続維持していくのが年々厳しい状況となっている。

これに対応すべく策定された「鳥取県中部地域公共交通利便増進実施計画」では、本町の地形上、無駄の多い路線バスの系統を見直し、より効率的な公共交通の確保を目指すもので、生活圏域である倉吉市と本町をつなぐ幹線を三朝線と上井・三朝線に絞り込み、その幹線につながる小河内線及び穴鴨線については、町運営有償運送を運行することによりライダー化を実現するものである。

今後は、小河内線及び穴鴨線沿線住民の通院・買い物・通学を確保・維持していくため、地域公共交通確保維持改善事業により、町運営有償運送の安定的な運営が必要となっている。

## 協議会の主な取り組み

- ・公共交通のあり方に関する検討
- ・町運営有償運送の運行
- ・路線バスのダイヤ等改善
- ・地域公共交通利便増進実施計画の策定 など

## 協議会における検討

### 協議会の開催状況

- ・令和4年6月27日開催(書面) R5確保維持改善計画の承認
- ・令和5年1月11日開催 R4確保維持改善計画の事業評価  
町営バスの利用状況について協議  
小河内線ルート変更について協議
- ・令和5年6月5日開催 R6確保維持改善計画の承認  
自家用有償旅客運送の更新
- ・令和5年8月31日開催(書面) バス停共用に関する合意
- ・令和6年1月11日開催 R5確保維持改善計画の事業評価  
町営バスの利用状況について協議

定量的な目標・効果

79条路線 運行系統名	令和5年度目標 人/年間
小河内線系統①	1,390
小河内線系統②	2,460
小河内線系統③	140
穴鴨線系統①	650
穴鴨線系統②	2,220
穴鴨線系統③	140
徳本線	1,000
計	8,000

【目標】

79条路線は、7系統あわせて年間8,000人の利用を目標とする。  
4条路線は、2系統あわせて年間700人の利用を目標とする。

【目標値の設定】

設定時は、運行開始から1年を経過しておらず実績を踏まえた設定ができなかったため、見込みによる目標値を設定した。

【効果】

高齢者や児童の日常生活に不可欠な移動手段が確保されるほか、効率的な運行体系が実現でき、外出促進・地域活性化につながる。

4条路線 運行系統名	令和5年度目標 人/年間
穴鴨線系統④	300
穴鴨線系統⑤	400
計	700

昨年度の自己評価に  
対するフォローアップ

- ・利用者からの要望を基に、聞き取り調査を実施するなど、最善の解決策となるよう模索し、誰もが利用しやすい公共交通となるよう見直しに努めた。
- ・町報やホームページ等の継続的な発信、周知チラシの刷新等を行い、利用促進につなげた。

実施した利用促進策

- ・ダイヤ改正にあわせて周知チラシを刷新
- ・町報、ホームページ、防災無線で継続的な情報発信
- ・要望により集落や老人クラブ等で説明会
- ・利用者への個別による乗り方サポート
- ・児童を対象にした乗り方教室の開催 など

昨年度の運輸局二次評価に  
対するフォローアップ

- ・昨年度の二次評価で「利用者のニーズを把握、利便性の向上に努める」という点に対して、町民から要望のあった小河内線のルート変更について、利用者への聞き取り調査を踏まえ、令和5年3月より変更を実施。利用者の生活に寄り添ったバス運行となるよう、利便性の向上に努めた。

地域住民の意見の反映

- ・窓口等で受け付けた利用者からの意見は、適宜データベースで管理するなど、ダイヤ改正等の検討材料としている。
- ・小河内線利用者の要望を受け、ルート変更を実施。
- ・穴鴨線利用者の要望を受け、路線延長を実施。

事業実施の適切性

いずれの系統においても、計画通り適切に実施されている。

目標・効果達成状況

4条路線 運行系統名	令和5年度目標 人/年間	令和5年度実績 人/年間
穴鴨線系統④	300	1,072
穴鴨線系統⑤	400	6,505
計	700	7,577

79条路線 運行系統名	令和5年度目標 人/年間	令和5年度実績 人/年間
小河内線系統①	1,390	603
小河内線系統②	2,460	1,135
小河内線系統③	140	7
穴鴨線系統①	650	969
穴鴨線系統②	2,220	962
穴鴨線系統③	140	172
徳本線	1,000	361
計	8,000	4,209

【目標】

79条路線は、7系統あわせて年間4,209人の利用で、目標の8,000人以上を達成できなかった。

4条路線は、2系統あわせて年間7,577人の利用で、目標の700人を達成した。

【目標値の設定】

年度推移は維持を目標としているため、今回の実績をベースとした目標値となるよう設定の見直しを行う。

【効果】

高齢者や児童の日常生活に不可欠な移動手段を確保維持することができた。効率的な運行体系が実現できた。

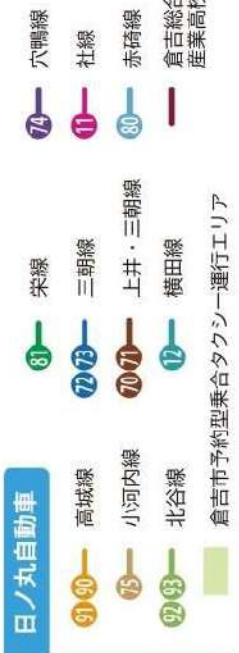
事業の今後の改善点

- ・利用者のニーズに合わせたダイヤ改正等の見直しを行い、利便性の向上に努めていく。
- ・引き続き、町報やホームページ等を活用して周知を図るほか、周知チラシの刷新や乗り方教室など、利用促進につながる取組みを継続して進めていく。
- ・さらに利便性を高めるための方策の検討を行い、持続可能な公共交通を目指していく。

交通体系図 別紙

Mount Mitoku Nageiredo

3 東高等学校



倉吉市予約型乗合タクシー運行エリア

※起終点の頭にある番号は下りの路線番号です。倉吉駅に向う上りの番号はすべて0となります。

みささサンサンバス (一部予約型) 日ノ丸自動車 0858-24-6633

タクシーのりば

- 六鴨線
- 小河内線
- 徳本線
- 日ノ丸ハイヤー(株)

広瀬線 (日本交通)

六鴨線 (日ノ丸自動車)  
六鴨線 (みささサンサンバス)

## 運行系統図 別紙

系統名：小河内線系統①  
 運行形態：交通空白地有償運送（不定期）  
 運行日・便数：平日・8便（休日・4便）  
 運賃：100円、200円

系統名：小河内線系統②  
 運行形態：交通空白地有償運送（不定期）  
 運行日・便数：平日・1便  
 運賃：100円、200円

系統名：小河内線系統③  
 運行形態：交通空白地有償運送（定期）  
 運行日・便数：休日・1便  
 運賃：100円、200円

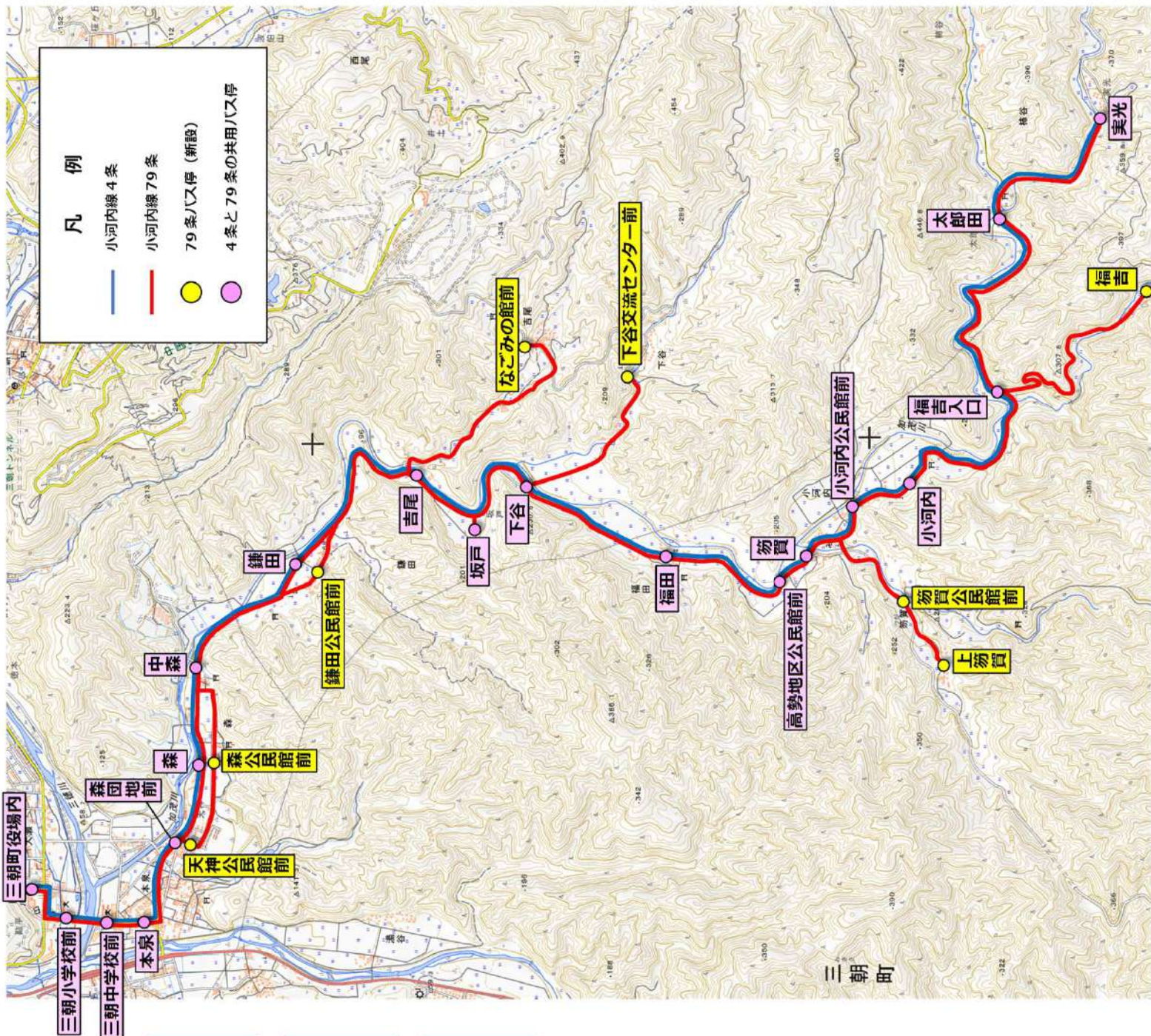
### 凡例

小河内線 4 条

小河内線 79 条

79 条バス停（新設）

4 条と 79 条の共用バス停



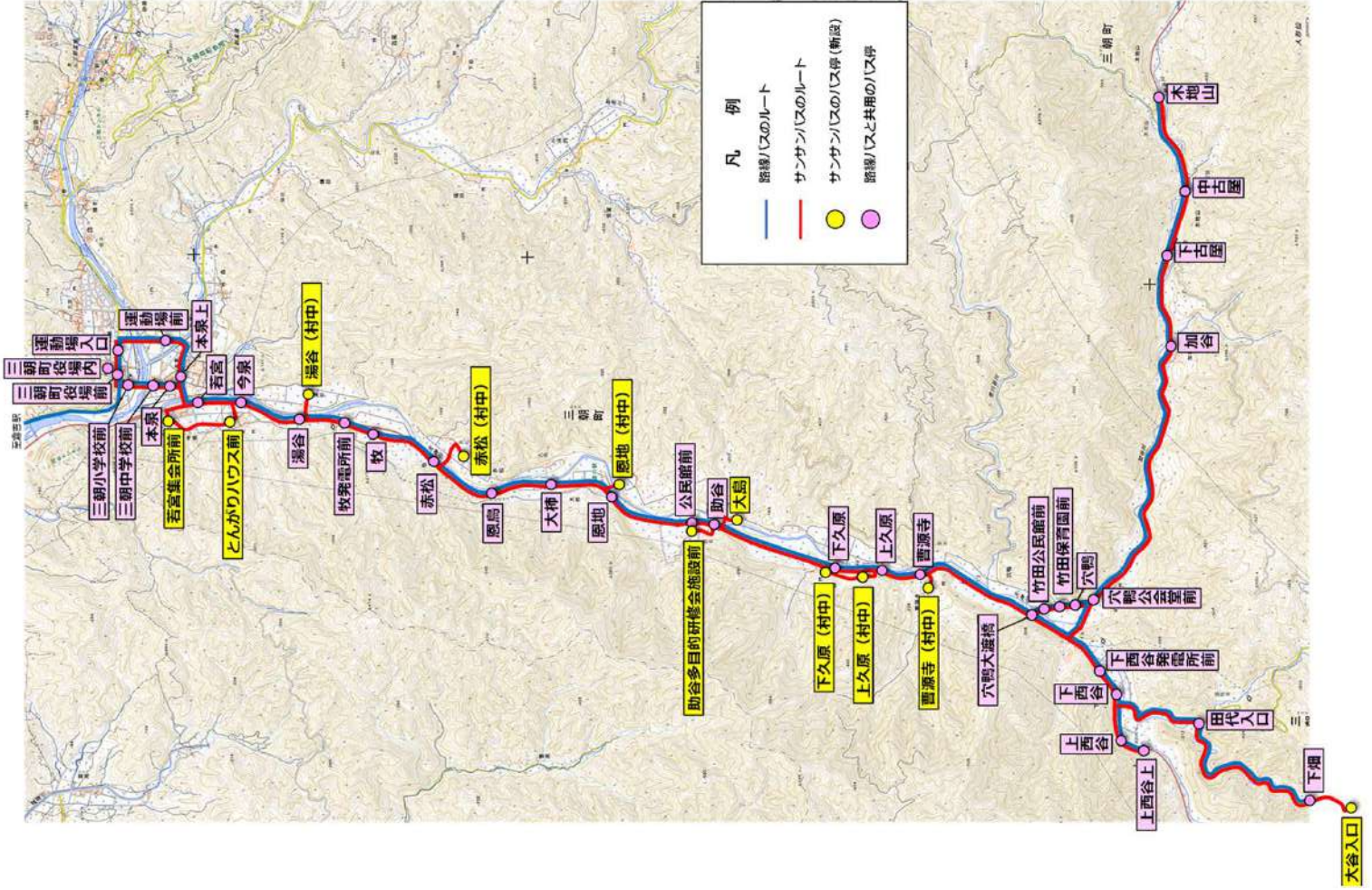


## 運行系統図 別紙

系統名：六鴨線系統①  
 運行形態：交通空白地有償運送（不定期）  
 運行日・便数：平日・2便（休日・3便）  
 運賃：100円、200円

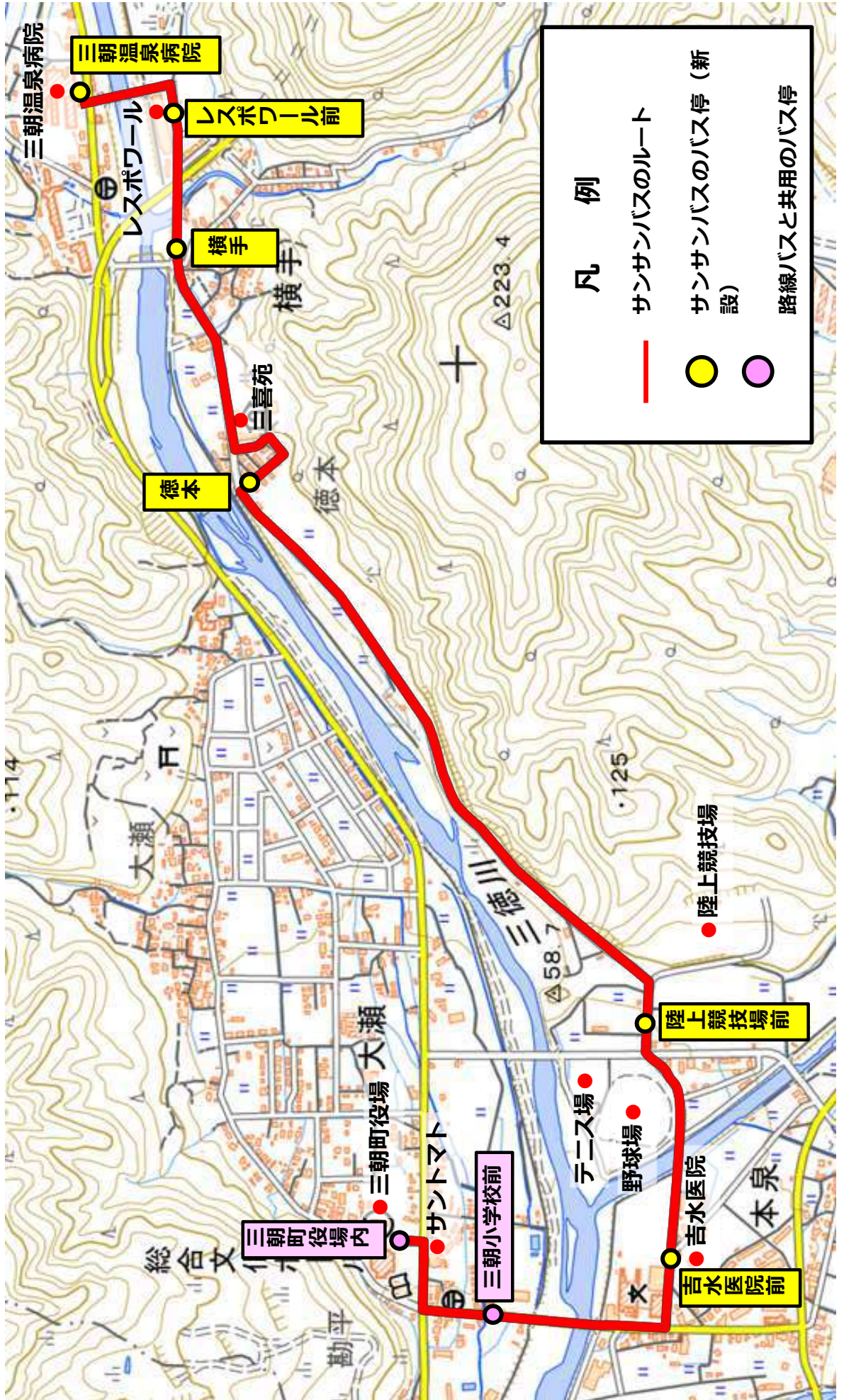
系統名：六鴨線系統②  
 運行形態：交通空白地有償運送（定期）  
 運行日・便数：平日・1便  
 運賃：100円、200円

系統名：六鴨線系統③  
 運行形態：交通空白地有償運送（定期）  
 運行日・便数：休日・1便  
 運賃：100円、200円



# 運行系統図 別紙

系統名：徳本線  
 運行形態：交通空白地有償運送(定期)  
 運行日・便数：平日・4便  
 運賃：100円



## 凡 例

サンサンバスのルート



サンサンバスのバス停 (新設)



路線バスと共用のバス停

### 3 徳本線におけるバス停の追加について

#### (1) 経緯

徳本線を普段利用している本泉区の方から、「三朝中学校前」のバス停で乗降したいとの要望があった。現在、「吉水医院前」を利用しているが、自宅から遠く足が悪いために移動が大変であるほか、吉水医院を利用しないのに玄関前で待つのがしのびないとのこと。近所の方も同様の希望があるという。

「三朝中学校前」は、小河内線・穴鴨線の乗降ポイントとして設定しているが、徳本線については、近場に「吉水医院前」を置いた関係から、あえて停車する必要がないと判断し、乗降ポイントを設定していなかった。

路線にある乗降ポイントの追加は、既存の運行形態を大きく変えるものでないため、委託業者の対応も容易である。今回、利便性向上の観点から、協議会での了承と住民への周知を行った上、乗降ポイントを増やすこととしたい。

#### (2) 概要

■変更内容 **徳本線の定時便（計4便）について、乗降ポイントとしてバス停「三朝中学校前」を追加する。**

■変更時期 **令和6年2月1日から**

※現に利用している方の利便性を考え、可能な限り速やかに対応することとしたい。

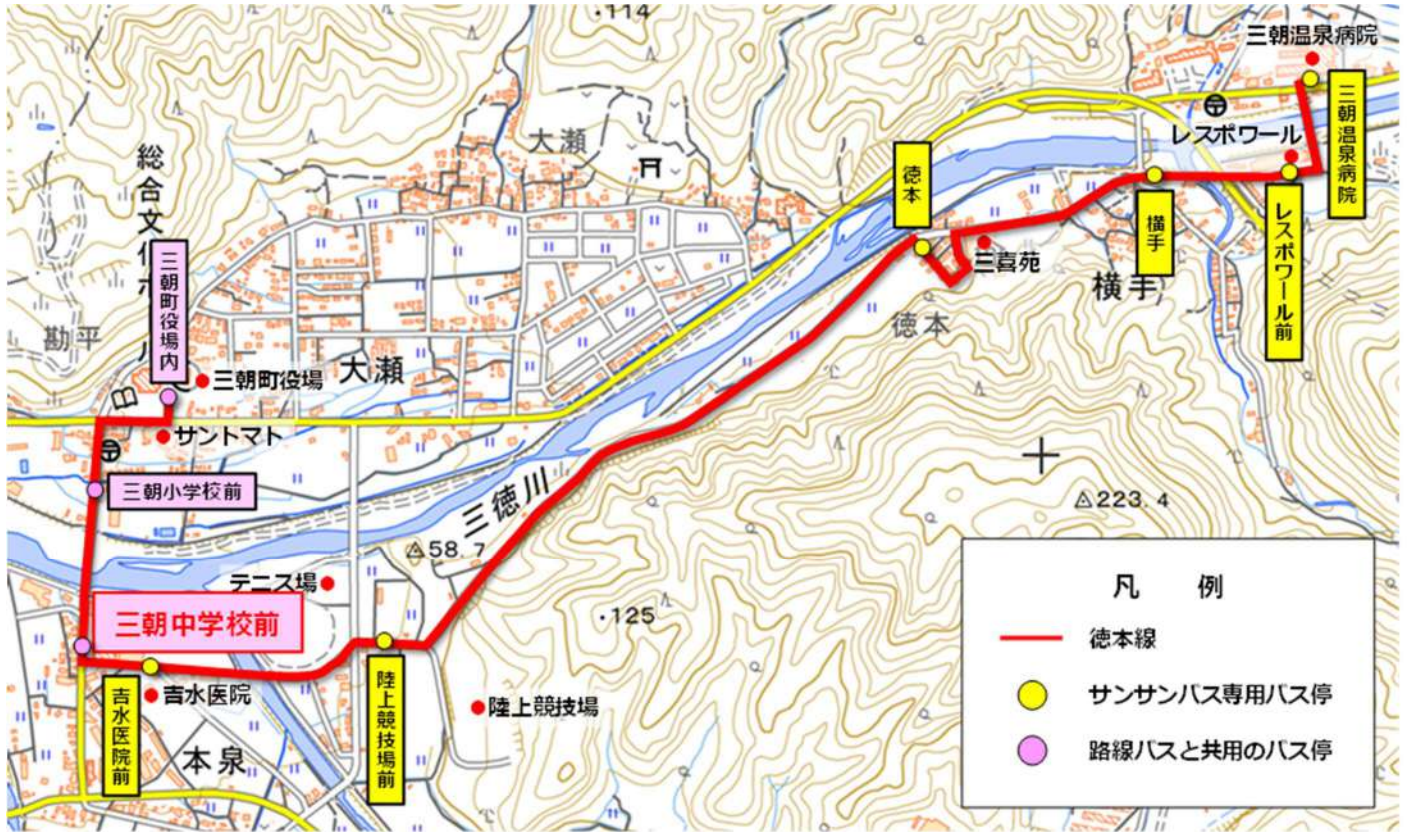
#### (3) 所要の手続き等

- 本件に係る鳥取運輸支局への手続きは特段必要ない（運輸支局確認済）
- 住民周知（町報2月号、町ホームページ）
- バス停及びチラシの修正（シール対応）

## みささサンサンバス 徳本線におけるバス停の追加について

令和6年2月1日から、徳本線においてバス停「三朝中学校前」が追加されます。

### 【バス停位置図】



### 【時刻表】

(下り)三朝町役場⇒三朝温泉病院			
No	バス停名	1便	2便
1	三朝町役場内	9:00	10:00
2	三朝小学校前	9:01	10:01
3	三朝中学校前	9:02	10:02
4	吉水医院前	9:02	10:02
5	陸上競技場前	9:03	10:03
6	徳本	9:06	10:06
7	横手	9:07	10:07
8	レスポワール前	9:08	10:08
9	三朝温泉病院	9:09	10:09

(上り)三朝温泉病院⇒三朝町役場			
No	バス停名	1便	2便
1	三朝温泉病院	9:10	10:10
2	レスポワール前	9:11	10:11
3	横手	9:12	10:12
4	徳本	9:13	10:13
5	陸上競技場前	9:16	10:16
6	吉水医院前	9:17	10:17
7	三朝中学校前	9:17	10:17
8	三朝小学校前	9:18	10:18
9	三朝町役場内	9:19	10:19

## 令和6年4月1日 路線バス時刻改正（案）

日ノ丸自動車株式会社

三朝小学校の移転と下校時間の変更に伴い、下記の通り路線バスのダイヤ改正を致します。

記

## ①上井-三朝線 下り（平日・土日祝） ●・・・下校便対応

現行			令和6年4月 改正		
始発	経由	行き先	始発	経由	行き先
倉吉駅 14:35	三朝役場 14:54	三朝車庫 15:03	倉吉駅 14:35	●三朝役場 14:47	三徳山 15:09
倉吉駅 15:25	三朝役場 15:37	三徳山 15:59	倉吉駅 15:33	●三朝役場 15:45	三徳山 16:07
倉吉駅 16:12	三朝役場 16:24	三徳山 16:46	倉吉駅 16:12	三朝役場 16:31	三朝車庫 16:40

## 上井-三朝線 上り（平日・土日祝）

始発	経由	行き先	始発	経由	行き先
三朝車庫 15:10	三朝役場 15:19	倉吉駅 15:38	三徳山 15:14	三朝役場 15:36	倉吉駅 15:48
三徳山 16:04	三朝役場 16:26	倉吉駅 16:38	三徳山 16:17	三朝役場 16:39	倉吉駅 16:51
三徳山 16:50	三朝役場 17:12	倉吉駅 17:24	三朝車庫 16:56	三朝役場 17:05	倉吉駅 17:24

## ②三朝線 下り（平日・土日祝）

現行			令和6年4月 改正		
始発	経由	行き先	始発	経由	行き先
生田車庫 14:31	三朝役場 14:56	三朝車庫 15:06	生田車庫 13:40	三朝役場 14:05	三朝車庫 14:15
生田車庫 14:05	三朝役場 14:31	神倉 14:53	生田車庫 14:24	●三朝役場 14:50	神倉 15:12
生田車庫 15:12	三朝役場 15:38	神倉 16:00	生田車庫 15:19	●三朝役場 15:45	神倉 16:07

## 三朝線 上り（平日・土日祝）

始発	経由	行き先	始発	経由	行き先
神倉 16:01	三朝役場 16:23	生田車庫 16:49	神倉 16:08	三朝役場 16:31	生田車庫 16:56

## ③穴鴨線 下り（平日） ※上り便変更無し

現行			令和6年4月 改正		
始発	経由	行き先	始発	経由	行き先
海田車庫 15:08	三朝中学校 15:31	木地山 15:58	海田車庫 15:22	●三朝中学校 15:45	木地山 16:12

令和6年1月現在。分単位の時間調整する場合があります。